

バリアフリー改修で

固定資産税が減額されます。

定例会

6月19日～20日

6月定例会は19日に開会し、会期を20日までの2日間と定め、北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙の投票を実施、引き続き町長から行政報告・提案理由の説明を受け、3議員から5項目にわたり一般質問を行い、表彰審議委員会委員の選任に同意、条例の一部改正2件、

条例の廃止2件、財産の取得1件、財産の処分1件・財産の交換1件、補正予算1件を原案可決し、延会しました。

条例

度の住宅の固定資産税の3分の1を減額するものです。

人
事

行いました

条例

納税奨励条例の廃止

地方税法等の一部改正により、関連する町税条例の一部改正が必要となつたもので、原案どおり可決しました。

表彰審議委員会委員の選任

職員の育児休業等に関する 条例の一部改正

・職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業により養育しようとする子の年齢が「3歳に満たない子」から「小学校就

して、昭和31年に条例を制定しましたが、納税奨励金を取り巻く状況や厳しい財政状況の下での事務事業の見直しにより平成18年度をもって納税貯蓄組合に係る補助金を廃止したことから、納税奨励条例を廃止することとしました。

から、条例の一部改正を行いました。

・保健師修学資金貸付条例の 廃止

予防接種健康被害調査委員会条例の一部改正

要介護認定又は要支援認定を受けている者及び障害者のいずれかの者が居住する住宅の廊下の拡幅、階段の勾配緩和、浴室の改良などのバリアフリーリー改修が行われた住宅について、100㎡分を限度として翌年

久保利治さん（本町5丁目）の6人を再任することとし、柳瀬エミ子さん（活潑60歳）清水由美子さん（旭町47歳）の2人について新たに委嘱をすることとなりました。

結核予防法が廃止されたことにより、条例の一部改正を

条例制定時の諸状況とは異なり、人材確保が容易になつたこと等を踏まえ条例を廃止することとしました。

財産の取得

平成11年導入の役場事務用コンピュータ等を更新することになりました。



平成11年導入のコンピュータ

売却財産の数量及び所在
町有林カラマツ立木他
2千355・032m ³
木樁118番地1

売却金額
1千627万5千円

売却先
熊谷林産株式会社



財産の処分

平成16年度からの町有林施設計画に基づき、次の財産の売り払いをすることとなりました。

交換する財産	交換相手	交換差金
除雪トラック10t級	東北海道いすゞ自動車株式会社北見支店	2千898万円

財産の交換

平成6年に取得した除雪トラックを、交換により更新します。

平成19年度予算補正

会計別	今回補正額	予算総額
一般会計	1,280万6千円	44億1,180万6千円
国保会計	179万9千円	10億269万9千円
老人保健会計	464万1千円	11億7,644万1千円
介護保険会計	△6万7千円	4億4,843万3千円
介護サービス会計	△68万6千円	2億7,741万4千円
下水道会計	1,897万7千円	5億7,417万7千円
簡易水道会計	30万5千円	1億3,940万5千円

(△は予算に対する減額を示します。)

補正された主な内容

〈一般会計〉

○美幌・津別広域事務組合負担金	143万円
○給与費	△1,782万円
○財政調整基金積立金	1,457万円
○森の健康館管理業務経費	219万円
○障害者自律支援事業経費	195万円
○後期高齢者医療広域連合業務経費	274万円
○福祉基金積立金	100万円
○下水道事業特別会計繰出金	212万円
○社会体育事業経費	△154万円

〈国保会計〉

○給与費	△68万円
------	-------

〈介護サービス会計〉

○給与費	△81万円
------	-------

〈下水道会計〉

○個別排水整備事業経費	960万円
○特定環境保全公共下水道償還金	940万円

取得財産
事務用コンピュータ・周辺機器等
契約の方法
指名競争入札
取得金額
1千247万4千円
契約相手
北海道リコー株式会社P.S 事業部



平成6年取得の除雪トラックを更新

会期を1日間と定め、平成18年度補正予算の専決処分7件を承認、条例の一部改正2件、平成19年度補正予算2件を原案可決、報告2件を了承し閉会しました。

過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正

租税特別措置法及び過疎地域自立促進特別措置法が平成19年3月30日に公布されたことから、関連する条例の一部を改正するもので、原案のとおり可決しました。

第4回臨時会
5月24日

条
例